



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月20日

上場会社名 株式会社船井総研ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9757 URL https://hd.funaisoken.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高嶋 栄
 グループCEO
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 奥村 隆久 (TEL) 06-6232-0130
 経営管理本部本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月21日 配当支払開始予定日 2020年9月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	12,234	1.2	2,584	△10.1	2,640	△9.4	1,745	△9.0
2019年12月期第2四半期	12,087	21.1	2,874	14.9	2,914	14.8	1,918	12.3

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 1,672百万円(△15.4%) 2019年12月期第2四半期 1,977百万円(9.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	35.06	34.68
2019年12月期第2四半期	38.02	37.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	27,466	23,765	84.1
2019年12月期	28,419	23,165	79.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 23,102百万円 2019年12月期 22,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	17.00	—	23.00	40.00
2020年12月期	—	20.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年12月期期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 記念配当3円00銭
記念配当は創立50周年を記念し実施しております。

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	△6.8	4,300	△24.6	4,350	△24.4	2,900	△25.0	58.26
	～25,760	～0.0	～5,150	～△9.7	～5,200	～△9.6	～3,500	～△9.5	～70.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2020年12月期の連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年12月期 2 Q	53,000,000株	2019年12月期	53,000,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	3,220,157株	2019年12月期	3,220,991株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年12月期 2 Q	49,779,095株	2019年12月期 2 Q	50,458,177株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 2「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
3. その他	12
(1) 受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言の発令など、国内経済は急激に悪化することになり、企業収益の悪化、有効求人倍率の低下等が続き、非常に厳しい状況でありました。先行きについても、感染症が国内外に与える影響に注意する必要があるとあり、予断を許さない状況であります。

このような状況のもと、当社グループは、営業活動が制限されるなかでオンラインセミナー開催、WEBを活用したコンサルティング、リモートワークの推進などにより事業活動を継続してまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高12,234百万円（前年同四半期比1.2%増加）、営業利益2,584百万円（同10.1%減少）、経常利益2,640百万円（同9.4%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,745百万円（同9.0%減少）となりました。

①売上高・・・12,234百万円（前年同四半期比1.2%増加）

売上高におきましては、新型コロナウイルスの影響により十分な営業活動を確保することができませんでしたが、経営コンサルティング事業に含まれるWEB広告運用代行業務及びダイレクトリクルーティング事業の売上高を伸ばすことが出来ました。

その結果、売上高は前年同四半期と比べて1.2%増加の12,234百万円となりました。

②営業利益・・・2,584百万円（前年同四半期比10.1%減少）

営業利益におきましては、売上原価は8,081百万円（前年同四半期は7,750百万円）、販売費及び一般管理費は1,568百万円（同1,462百万円）となりました。

その結果、営業利益は前年同四半期と比べて10.1%減少の2,584百万円となりました。

③経常利益・・・2,640百万円（前年同四半期比9.4%減少）

経常利益におきましては、余資運用による投資有価証券売却益等により営業外収益が65百万円（前年同四半期48百万円）、営業外費用が9百万円（同8百万円）となりました。

その結果、経常利益は前年同四半期と比べて9.4%減少の2,640百万円となりました。

④親会社株主に帰属する四半期純利益・・・1,745百万円（前年同四半期比9.0%減少）

親会社株主に帰属する四半期純利益におきましては、法人税等合計が890百万円（前年同四半期は989百万円）となり、前年同四半期と比べて9.0%減少の1,745百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①経営コンサルティング事業

売上高におきましては、主力部門である住宅・不動産業界向けコンサルティング部門や、教育・保育・スクール業界向けコンサルティング部門における業績向上コンサルティングは前年同四半期を上回ることができました。また、顧客における集客手法のWEB割合の上昇に伴い、WEB広告運用代行業務においても順調に売上高を伸ばすことができました。しかしながら、それ以外の多くの業種においては、新型コロナウイルス感染症の影響による営業活動の制限や、対面形式によるセミナー開催を中止にしたことに伴い新規受注が伸び悩む結果となり、前年同四半期を下回る結果となりました。また、中国上海市に拠点を置く船井(上海)商務情報諮詢有限公司においては、期初より営業活動が大きく制約されたことにより売上高が減少いたしました。4月以降は徐々に業務再開することができました。

利益面におきましては、出社・出張の制限により旅費交通費やセミナー等の会場代などが大幅に削減されましたが、人数増加に伴う固定費の増加や、売上高減少分を補うことができず減益となりました。

その結果、売上高は9,071百万円（前年同四半期比2.1%減少）、営業利益は2,513百万円（同12.1%減少）となりました。

②ロジスティクス事業

売上高におきましては、物流オペレーション業務は既存顧客の深耕やスポット受注により前年同四半期と比べて売上高が増加いたしました。また、物流コンサルティング業務は新規受注は伸び悩んだものの増収を確保することができましたが、物流トレーディング業務は企業や人の異動減少に伴う燃料販売量の減少及び燃料単価の下落により前年同四半期と比べて売上高は減少いたしました。利益面におきましては、利益率が高い物流コンサルティング業務の売上高構成比率の減少により、全体の利益率が低下したことと、人数増加に伴う人件費増加などの影響により減益となりました。

その結果、売上高は1,279百万円（前年同四半期比9.4%増加）、営業利益は165百万円（同0.5%減少）となりました。

③ダイレクトリクルーティング事業

売上高におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、セミナー開催の中止による新規顧客獲得の減少や、採用広告出稿が減少したものの、ベースの契約が前年同四半期と比べて増加したため、売上高は24.4%増となり増収を確保いたしました。当事業は早期の売上拡大を目指すべく販促費用や運用体制整備に伴う人件費、システム開発費用を中心に先行投資を継続しているため、当四半期においては営業損失となりましたが、前年同四半期と比べて営業損失額は減少いたしました。

その結果、売上高は1,358百万円（前年同四半期比24.4%増加）、営業損失は66百万円（前年同四半期は営業損失153百万円）となりました。

④その他

売上高におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業活動の制限や業務の延期があり、売上高、営業利益ともに減少することとなりました。

その結果、売上高は513百万円（前年同四半期比6.3%減少）、営業損失は51百万円（前年同四半期は営業利益6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて953百万円減少し、27,466百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて896百万円減少し、15,798百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金並びに有価証券の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて56百万円減少し、11,667百万円となりました。これは主に建物及び構築物の減少によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,553百万円減少し、3,700百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,521百万円減少し、3,410百万円となりました。これは主に1年内償還予定の社債及びその他に含まれる未払金並びに預り金の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて31百万円減少し、290百万円となりました。これは主に繰延税金負債の減少によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて600百万円増加し、23,765百万円となりました。

(自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて4.7ポイント増加し、84.1%と

なりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて379百万円増加し、12,009百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,562百万円（前年同四半期は2,168百万円の資金の獲得）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益を2,635百万円計上し、法人税等の支払額が1,108百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は271百万円（前年同四半期は435百万円の資金の使用）となりました。

これは主に、投資有価証券の取得と売却及び償還による差引収入が395百万円、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出が123百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,453百万円（前年同四半期は1,019百万円の資金の使用）となりました。

これは主に、配当金の支払額が1,142百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染症の影響により依然として厳しい状況にあり、国内外の経済に与える影響は長期化が予想され、当社グループの主要顧客である中小企業に対しても、ある程度の影響を及ぼすものと想定されます。当社グループにおきましても、従来行っておりました経営者向けセミナーを集客スタイルからオンラインスタイルへの移行、コンサルティング活動を訪問型コンサルティングからWEB会議システム等を活用したリモート型コンサルティングへの移行を推進しております。また、採用活動及びバックオフィス業務においては、早期にWEB及びリモートワーク中心のオペレーションにデジタルシフトしたことにより、事業活動は順調に継続しております。

2020年5月20日公表の2020年12月期第1四半期決算短信では、新型コロナウイルス感染症の影響により、コンサルティング活動の営業制限や、主要顧客である中小企業への影響の収束時期の見通しが立っておらず、業績予想及び配当予想の合理的な算定が困難であると判断し、2020年12月期の通期業績予想は未定とさせていただきます。現時点におきましても、いまだ感染状況の収束の見通しは不透明であります。現時点における入手可能な情報や予測等に基づき、業績予想を算定いたしました。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ」をご参照ください。

修正後の通期の連結業績予想につきましては、売上高は24,000百万円から25,760百万円、営業利益は4,300百万円から5,150百万円、経常利益は4,350百万円から5,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2,900百万円から3,500百万円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,630,554	12,009,933
受取手形及び売掛金	2,870,051	2,266,403
有価証券	1,001,132	504,781
仕掛品	155,685	162,784
原材料及び貯蔵品	5,759	7,307
その他	1,071,147	890,119
貸倒引当金	△39,543	△43,204
流動資産合計	16,694,787	15,798,126
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,311,009	1,270,334
土地	4,602,643	4,602,643
その他（純額）	196,280	178,268
有形固定資産合計	6,109,933	6,051,246
無形固定資産		
借地権	322,400	322,400
ソフトウェア	274,379	295,157
その他	177,210	126,211
無形固定資産合計	773,990	743,768
投資その他の資産		
投資有価証券	3,907,279	3,885,945
退職給付に係る資産	473,196	494,561
その他	468,046	502,039
貸倒引当金	△8,006	△9,612
投資その他の資産合計	4,840,516	4,872,935
固定資産合計	11,724,440	11,667,950
資産合計	28,419,227	27,466,076

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	347,821	297,991
1年内償還予定の社債	500,000	—
短期借入金	—	200,000
未払法人税等	1,159,020	948,550
賞与引当金	—	152,464
その他	2,925,055	1,811,041
流動負債合計	4,931,897	3,410,047
固定負債		
長期借入金	100,000	100,000
退職給付に係る負債	60,876	63,669
繰延税金負債	109,949	80,186
その他	51,377	46,825
固定負債合計	322,203	290,681
負債合計	5,254,101	3,700,729
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,125,231	3,125,231
資本剰余金	2,947,675	2,951,287
利益剰余金	19,731,165	20,331,733
自己株式	△3,342,957	△3,345,503
株主資本合計	22,461,115	23,062,748
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	211,575	127,075
為替換算調整勘定	16,146	15,620
退職給付に係る調整累計額	△114,954	△103,214
その他の包括利益累計額合計	112,766	39,481
新株予約権	591,243	663,116
純資産合計	23,165,126	23,765,346
負債純資産合計	28,419,227	27,466,076

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	12,087,880	12,234,202
売上原価	7,750,723	8,081,952
売上総利益	4,337,156	4,152,249
販売費及び一般管理費	1,462,648	1,568,071
営業利益	2,874,508	2,584,178
営業外収益		
受取利息	4,525	8,521
受取配当金	5,013	4,709
投資有価証券売却益	18,891	36,305
投資有価証券評価益	1,464	2,893
還付消費税等	11,429	—
その他	7,440	13,218
営業外収益合計	48,766	65,649
営業外費用		
支払利息	2,590	1,652
投資有価証券評価損	1,914	887
為替差損	757	4,398
投資事業組合管理費	2,047	1,824
その他	1,047	435
営業外費用合計	8,358	9,198
経常利益	2,914,915	2,640,629
特別利益		
投資有価証券売却益	626	32
特別利益合計	626	32
特別損失		
固定資産除却損	394	5,135
投資有価証券売却損	6,807	—
特別損失合計	7,201	5,135
税金等調整前四半期純利益	2,908,341	2,635,525
法人税、住民税及び事業税	1,017,542	901,389
法人税等調整額	△27,843	△11,349
法人税等合計	989,699	890,040
四半期純利益	1,918,641	1,745,484
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,918,641	1,745,484

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,918,641	1,745,484
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,008	△84,499
為替換算調整勘定	△918	△525
退職給付に係る調整額	14,921	11,740
その他の包括利益合計	59,011	△73,284
四半期包括利益	1,977,653	1,672,199
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,977,653	1,672,199

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,908,341	2,635,525
減価償却費	132,626	142,357
のれん償却額	33,417	22,569
株式報酬費用	95,275	78,473
貸倒引当金の増減額(△は減少)	300	5,266
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△9,495	△9,623
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	12,504	2,793
賞与引当金の増減額(△は減少)	120,941	152,596
投資有価証券評価損益(△は益)	449	△2,006
投資有価証券売却損益(△は益)	△12,710	△36,337
受取利息及び受取配当金	△9,539	△13,231
支払利息	2,590	1,652
為替差損益(△は益)	△367	△863
有形固定資産除却損	394	2,427
無形固定資産除却損	—	2,708
売上債権の増減額(△は増加)	△31,213	603,482
その他の資産の増減額(△は増加)	△453,610	△265,605
その他の負債の増減額(△は減少)	△13,486	△1,129,053
その他	4,274	5,036
小計	2,780,692	2,198,169
利息及び配当金の受取額	20,003	20,369
利息の支払額	△2,601	△1,619
法人税等の支払額	△972,367	△1,108,372
法人税等の還付額	343,175	454,299
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,168,902	1,562,846
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△100,067	—
有価証券の売却及び償還による収入	100,000	600,000
投資有価証券の取得による支出	△163,405	△205,550
投資有価証券の売却及び償還による収入	14,272	797
有形固定資産の取得による支出	△221,369	△36,472
無形固定資産の取得による支出	△73,809	△87,278
保険積立金の解約による収入	8,938	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△435,439	271,496
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	200,000
社債の償還による支出	—	△500,000
リース債務の返済による支出	△7,376	△5,102
自己株式の取得による支出	△7,021	△5,538
自己株式の売却による収入	148	2
配当金の支払額	△1,005,609	△1,142,610
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,019,860	△1,453,247
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,791	△1,715
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	711,810	379,379
現金及び現金同等物の期首残高	11,022,585	11,630,554
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,734,395	12,009,933

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	経営コンサルティング事業	ロジスティクス事業	ダイレクトリクルーティング事業	その他(注)1	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高							
外部顧客への売上高	9,267,413	1,169,556	1,091,494	547,584	12,076,049	11,831	12,087,880
セグメント間の内部売上高又は振替高	98,870	289,287	7,079	12,761	407,999	△407,999	—
計	9,366,284	1,458,844	1,098,574	560,345	12,484,048	△396,167	12,087,880
セグメント利益又は損失(△)	2,859,256	166,664	△153,502	6,858	2,879,277	△4,768	2,874,508

(注) 1 その他には、ITコンサルティング事業、コンタクトセンターコンサルティング事業、システム開発事業による収入等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社収益並びに全社費用が含まれております。全社収益は、各グループ会社からの業務受託手数料、経営指導料及び不動産賃貸収入等であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	経営コンサルティング事業	ロジスティクス事業	ダイレクトリクルーティング事業	その他(注)1	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高							
外部顧客への売上高	9,071,551	1,279,621	1,358,033	513,164	12,222,370	11,831	12,234,202
セグメント間の内部売上高又は振替高	70,968	135,590	2,280	1,552	210,391	△210,391	—
計	9,142,520	1,415,211	1,360,313	514,716	12,432,762	△198,560	12,234,202
セグメント利益又は損失(△)	2,513,083	165,823	△66,305	△51,637	2,560,963	23,215	2,584,178

(注) 1 その他には、ITコンサルティング事業、コンタクトセンターコンサルティング事業、システム開発事業による収入等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社収益並びに全社費用が含まれております。全社収益は、各グループ会社からの業務受託手数料、経営指導料及び不動産賃貸収入等であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

(1) 受注及び販売の状況

①受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
経営コンサルティング事業	6,213,032	△12.3	6,487,496	△5.6
ロジスティクス事業	183,143	△40.7	214,595	△6.3
その他	152,825	△51.0	164,370	23.1

- (注) 1 経営コンサルティング事業については、会費収入、セミナー収入は継続収入であるため、経営コンサルティング収入についてのみ記載しております。
- 2 ロジスティクス事業については、物流コンサルティング収入についてのみ記載しております。
- 3 ダイレクトリクルーティング事業については、コンサルティング収入がないため上表には記載しておりません。
- 4 その他の事業については、ITコンサルティング収入及びコンタクトセンターコンサルティング収入について記載しております。
- 5 金額は販売価格で表示しております。
- 6 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
経営コンサルティング事業	9,071,551	△2.1
ロジスティクス事業	1,279,621	9.4
ダイレクトリクルーティング事業	1,358,033	24.4
その他	513,164	△6.3
合計	12,222,370	1.2

- (注) 1 販売実績は、外部顧客に対する売上高を表示しております。
- 2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
- 3 総販売実績に対して10%以上に該当する相手先はありません。